中学校２年　社会　調査結果及び考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別		計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	地理	歴史	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	6	5	7	１０	8	１８
－10％ より低い	0	2	0	0	2	2
計	6	7	7	１０	１０	２０

（２）考察

①　全体について

ア　平均通過率は、設定通過率の平均とほぼ同じであり、おおむね良好な状況にあるといえる。

イ　設問ごとの通過率はほとんどが設定通過率の－10%以上であり、おおむね良好な状況にあるといえる。

②　成果

ア　基礎的な知識や技能の習得に向上が見られる。

③　課題

ア　複数の情報を組み合わせて適切に判断したり、複数の資料を活用して考察する力が不足している。

（３）今後の指導

ア　学習課題について、既習知識を活用して予想した上で、様々な資料に当たって検証したり考えさせたりしていくことで、論理的な見方や考え方を育てる。

○ポイント［（７を例として］

①条件からの予想

②予想を基にした検証

○具体例

表　北海道、秋田県、東京都、福岡県の産業

	A	B	C	D
就業者総数	5 916	2 604	2 297	550
農業人口	16	131	95	91
耕地面積	8	1 166	89	152
農業産出額	287	10 663	2 236	1 866
製造業従事者	430	194	227	79
製造事業所数	44 709	9 967	10 837	3 786
製造品出荷額	110 994	55 150	77 987	14 136

・北海道、秋田県、東京都、福岡県の比較であることをとらえるとともに、比較する７つの項目を確認する。

・秋田県は、他の３都道府県より県人口が少ないので就業者総数も少ないのでないか、秋田県は農業がさかんなので耕地面積は広い方ではないか、工業関連の数値は他より低いのではないか、など予想する。

・予想した上で資料の数値に当たることで、Ｄが秋田県であることを確かめる。

・日々の授業において、課題解決の各ステップを大切にし、「学び方」を指導していくことが大切である。特に、学習課題について予想し、その予想を確かめていくためにはどのような資料が必要か、どのような調査が必要か等について生徒に考えさせ、課題解決の見通しをもたせるような指導が望まれる。

・複数の資料を結び付けた考察の仕方について、事例を基にしてポイントを指導することが大切である。例えば、資料１から原因を、資料２から結果を読み取って結び付けたり、各資料に共通する概念を見出したりするなどの基本的な考察の仕方については、確実に定着を図りたい。